

各区の地域特性

※前計画策定の際にまとめたもの

安 塚 区

【地域の特徴】

- 立地 市の南東端に位置し、牧区、浦川原区、大島区、長野県飯山市と接しています。
- 環境 中山間地域に位置し、棚田で主に稲作が行われており、観光・交流施設として、キューピットバレイスキー場、ゆきだるま温泉等があります。
- 人口密度 47.6人／km²（13区の中で11番目）
- 交通 鉄道：路線なし / 道路：国道403号線、国道405号線
- 学校等 安塚高校、安塚中学校、安塚小学校、安塚保育園

【犯罪の発生状況】

平成18年中の刑法犯の発生状況は、総数18件で、そのうち窃盗犯は14件(77.8%)、凶悪犯は1件、粗暴犯は1件でした。

窃盗犯で見ると、侵入盗2件(14.3%)、非侵入盗12件(85.7%)であり、手口別に多いものでは置引きが4件ありました。

犯罪率5.4件／1,000人（13区の中で4番目）

～懇談会での主な意見～

- 春は山菜採り、冬はスキー場に人が出入りすることから犯罪率が高い傾向があるが、近隣同士、「出かけますからお願いします。」などと一声かけ合うコミュニケーションがあり、子ども見守り活動においては集落内で連携が図られている。
- 「学校応援団」という名称のボランティアグループがユニフォームを着て、自主的な防犯パトロールを行っている。
- ケーブルテレビの文字放送を利用して情報の共有が図られている。
- 日中働く父親が学校の行事などに参加できないことから、子どもたちに父親の顔が知られていないという問題がある。
- 高齢化が進んでおり、一人暮らしの高齢者が多く、高齢者が事件や事故に巻き込まれないか心配がある。一方で、交通ルールを守らない高齢者が多くなっており、交通事故の被害者だけでなく加害者になる心配も抱えている。

浦川原区

【地域の特徴】

- 立地 市の東側に位置し、吉川区、大島区、安塚区、牧区、三和区、頸城区と接しています。
- 環境 里山の玄関口にあたる地域で、区内には田園地域と山間地域があります。
- 人口密度 80.6人／km²（13区の中で8番目）
- 交通 鉄道：北越急行ほくほく線うらがわら駅、虫川大杉駅
道路：国道253号線、国道405号線
- 学校等 浦川原中学校、中保倉小学校、下保倉小学校、末広小学校、うらがわら保育園

【犯罪の発生状況】

平成18年中の刑法犯の発生状況は、総数22件で、そのうち窃盗犯15件（68.2%）、知能犯3件、その他の刑法犯4件でした。

窃盗犯で見ると、侵入盗2件（13.3%）、非侵入盗13件（86.7%）であり、手口別に多いものでは自動販売機ねらいが5件、車上ねらいが3件ありました。

犯罪率5.4件／1,000人（13区の中で4番目）

～懇談会での主な意見～

- これまで培った地域コミュニケーションがあり、防犯に限らず地縁組織的なもので守られるという良い点があるが、国道や鉄道が通り、人が集まり通り抜けていく地理的環境があり、通学時における防犯や交通安全について不安要因がある。
- 平成17年度からPTAと青少年健全育成協議会がキッズサポーター制度を導入し、メンバー10数人が見守り活動を行っている。平成18年には防犯組合が組織された。
- 通学路に「パトロール中」という立て看板を設置しているためか、地域内での不審者事案はない。

大 島 区

【地域の特徴】

- 立地 市の東端に位置し、吉川区、浦川原区、安塚区、柏崎市、十日町市、長野県と接しています。
- 環境 ほたるの生息する豊かな自然環境、保倉川及び田麦川の両岸に棚田を抱える中山間地です。観光・交流施設として大山温泉「あさひ荘」があります。
- 人口密度 30.6 人／km²（13 区の中で 13 番目）
- 交通 鉄道：北越急行ほくほく線ほくほく大島駅
道路：国道 253 号線、国道 403 号線、国道 405 号線
- 学校等 大島中学校、大島小学校、大島保育園

【犯罪の発生状況】

平成 18 年中の刑法犯の発生状況は、総数 9 件で、そのうち窃盗犯は 1 件（11.1%）でした。

犯罪率 4.1 件／1,000 人（13 区の中で 7 番目）

～懇談会での主な意見～

- 下校時の児童見守り活動を、地域防犯組織を立ち上げる以前から小学校所在地の町内会が行い、子どもを家の近くまで送っている。
- 平成 18 年 5 月に防犯組織を立ち上げ、平成 19 年には市の補助金を活用して、オレンジベスト等を整備した。下校時の見守り活動は、町内会が主体となって、毎日、オレンジベストを着用して行っている。
- 若手は働きに出ているため、日中の活動は 65 歳位の方々が中心である。
- 区内においても自主防犯活動の取り組みや意識に温度差が生じている現状があり、また防犯活動に必要な資金の確保という課題も抱えている。

牧 区

【地域の特徴】

- 立地 市の東南端に位置し、安塚区、清里区、浦川原区、三和区、長野県と接しています。
- 環境 飯田川を水源とした棚田が広がる丘陵地であり、史跡・名所として宮口古墳公園、歴史民俗資料館があります。
- 人口密度 43.0 人／km²（13 区の中で 12 番目）
- 交通 鉄道：路線なし / 道路：国道 405 号線
- 学校等 牧中学校、牧小学校、牧保育園

【犯罪の発生状況】

平成 18 年中の刑法犯の発生状況は、総数 4 件で、そのうち窃盗犯は 3 件（75.0%）でした。

窃盗犯で見ると、侵入盗 2 件（66.7%）、非侵入盗 1 件（33.3%）であり、侵入盗では空き巣が 1 件、その他が 1 件、非侵入盗では置引きが 1 件でした。

犯罪率 1.5 件／1,000 人（13 区の中で 12 番目）

～懇談会での主な意見～

- 地形的に人や車の移動が少ない環境にある。
- 犯罪が少ないこともあり、住民の防犯意識が希薄で、防犯組織はあるものの活動の必要性や現実性の認識に差異がある。
- 子ども安全活動の主体は小学校と青少年健全育成協議会である。
- 小・中学校が合同で、危険箇所の点検と安全マップの作製を行っている。
- 集落内の防犯灯は、整備されているが、集落と集落の間は少ないので、危険を防止するため、学校から一定距離以上を通学する児童、生徒についてはスクールバスでの送迎を行っている。
- PTA は父親の参加が少なく、子どもに父親の顔が知られていないので、父親が子どもに声かけもできないような現状がある。

柿 崎 区

【地域の特徴】

- 立地 市の北東端に位置し、日本海に面し、吉川区、大湊区、柏崎市と接しています。
- 環境 交通アクセスが良く、市街地・海岸部は積雪量が少ないことなど、恵まれた立地条件があり、中小企業が多数立地しています。一方で、山間集落では過疎化が進んでいます。
- 人口密度 135.4人／km²（13区の中で4番目）
- 交通 鉄道：JR信越本線柿崎駅、上下浜駅
道路：国道8号線、北陸自動車道柿崎IC
- 学校等 久比岐高校、柿崎中学校、柿崎小学校、上下浜小学校、下黒川小学校、黒川小学校、柿崎第一保育園、柿崎第二保育園、上下浜保育園、下黒川保育園、黒川保育園

【犯罪の発生状況】

平成18年中の刑法犯の発生状況は、総数79件で、そのうち窃盗犯は57件(72.2%)、粗暴犯は5件、知能犯は4件でした。

窃盗犯で見ると、侵入盗2件(13.3%)、非侵入盗55件(86.7%)であり、主な手口別では自動販売機ねらいが11件、車上ねらいが10件、乗り物盗が7件、万引きが7件などでした。

犯罪率6.9件／1,000人（13区の中で3番目）

～懇談会での主な意見～

- 地域で自信をもって子どもの登下校を見守っている。
- 警察署の統廃合により、交番の警察官の人数が減ってしまい不安を感じている。
- 日中一人暮らしの高齢者が多く、施錠の習慣もなく、不安がある。
- 地元の防犯情報が欲しいと感じている。
- 管理されていない空き家が多く問題を抱えている。

大 潟 区

【地域の特徴】

- 立地 市の北東に位置し、海に面し、柿崎区、吉川区、頸城区、合併前の上越市と接しています。
- 環境 海、砂浜、松林、湖沼、などの自然環境を有し、市で唯一の温泉街「鵜の浜温泉」があります。住民生活や観光客など来訪者に対し交通の利便性が高いため交流人口が多いです。
- 人口密度 605.9 人／km²（13 区の中で 1 番目）
- 交通 鉄道：JR 信越本線犀潟駅、土底浜駅、潟町駅
北越急行ほくほく線犀潟駅
道路：国道 8 号線、北陸自動車道大潟 PA スマート IC
- 学校等 大潟町中学校、大潟町小学校、はまっこ保育園、まつかぜ保育園

【犯罪の発生状況】 平成 18 年中の刑法犯の発生状況は、総数 96 件で、そのうち窃盗犯は 60 件（62.5%）、粗暴犯は 3 件、知能犯は 4 件でした。

～懇談会での主な意見～

- 温泉や海水浴など人や車の往来も多く、交流人口が多いことから、これにまぎれて、不審者が入ってくる可能性が大きく、13 区の中では人口密度、犯罪率が高い実情があり、防犯・防災の必要性や必然性が高いという地域性がある。
- おおがたみまもり隊は、結成して 3 年、隊員 99 名、子ども会 1 団体が参加し、小学生を対象とした、朝夕の登下校の見守り活動を、ほぼ毎日実施している。
- 犀潟パトロール隊は、こども 110 番の家や 110 番協力車に腕章を配り参加を呼びかけ、年 1 回の子ども会で顔を合わせ、情報共有を図っている。

頸 城 区

【地域の特徴】

- 立地 合併前の上越市の東に隣接し、大潟区、吉川区、浦川原区、三和区と接しています。
- 環境 区の85%は平坦地で、西部には県営南部産業団地などがあり、東部には大池いこいの森、中央部には文化・スポーツ施設があります。
- 人口密度 262.5人／km²（13区の中で2番目）
- 交通 鉄道：JR信越本線黒井駅、
北越急行ほくほく線大池いこいの森駅、くびき駅
道路：国道8号線
- 学校等 頸城中学校、南川小学校、大瀧小学校、明治小学校、南川保育園、大瀧保育園、明治保育園、くびきひよこ園

【犯罪の発生状況】

平成18年中の刑法犯の発生状況は、総数52件で、そのうち窃盗犯は38件(73.1%)、粗暴犯は4件、知能犯は1件でした。

窃盗犯で見ると、侵入盗12件(31.6%)、非侵入盗26件(68.4%)であり、侵入盗の手口別で多いものでは事務所荒しが6件、非侵入盗では乗り物盗が7件でした。
犯罪率5.2件／1,000人（13区の中で6番目）

～懇談会での主な意見～

- 吉川区、浦川原区からの通り抜けが多く、交通量が増えており、交通事故に対する心配がある。
- 高速道路のバス停付近では、高校生がたむろしたり、壁の損壊や落書きも認められ、夜間の女性被害などの不安がある。
- 防犯活動は、集落によってさまざまな環境の違いがあるので、町内会ごとに自主的な取り組みをしてもらっている。日中は若者が少なく、高齢者に活動をお願いしている。
- 大瀧小学校では、青少年健全育成協議会の活動の100%が防犯活動であり、警察の駐在所と交流を図り、積極的な取り組みが行われている。
- 地域で高齢者の防犯教室を実施しており、消費生活センターに講師をお願いして老人会の旅行に行く日の朝、公民館でオレオレ詐欺の被害防止の防犯教育を行っている。

吉川区

【地域の特徴】

- 立地 市の東端に位置し、柿崎区、大潟区、頸城区、浦川原区、大島区、柏崎市と接しています。
- 環境 標高の低い山間地域であり、若者等の転出による人口流出と高齢化が進んでいます。
- 人口密度 69.0 人／km²（13 区の中で 9 番目）
- 交通 鉄道：路線なし / 道路：区内を走る国道なし
- 学校等 吉川高校、吉川中学校、吉川小学校、吉川保育園、旭保育園、吉川中央保育園

【犯罪の発生状況】

平成 18 年中の刑法犯の発生状況は、総数 14 件で、そのうち窃盗犯は 14 件(100.0%)でした。

窃盗犯で見ると、侵入盗 4 件 (28.6%)、非侵入盗 10 件 (71.4%) であり、侵入盗の主な手口別では空き巣が 1 件、忍込みが 1 件、非侵入盗では万引きが 5 件、乗り物盗が 2 件でした。

犯罪率 2.7 件／1,000 人（13 区の中で 9 番目）

～懇談会での主な意見～

- 実際に身近で犯罪が発生することが少なく、犯罪の被害に遭う不安を感じていない面がある。犯罪率も低く、これは地域の目がしっかりしていることが理由と思われる。
- 集落間が離れているうえ、人口が減っており、朝の交通量はあがるが、日中の人口は更に少なくなっている。
- 地理的には、不審者が一旦入り込むと山道しか出口はなく、逃げにくい要素がある。
- 地域が広く、子どもがいる地域も点在し、徒歩通学も限られることから、ほとんどがスクールバスを利用している。
- スクールバスを降りてから、家までの距離が長いため、その間の見守り活動は必要であり、警察の駐在所と連携して活動している。

中 郷 区

【地域の特徴】

- 立地 市の南端に位置し、妙高市の新井地区と妙高地区に挟まれた形にあります。
- 環境 豪雪地帯であり、妙高山温泉地帯の北部に位置し、陸上自衛隊関山駐屯地、遊園地妙高サンシャインランド、場外馬券売り場オープン中郷などがあります。
- 人口密度 108.0 人／km²（13 区の中で 6 番目）
- 交通 鉄道：JR 信越本線二本木駅
道路：国道 18 号線、上信越自動車道中郷 IC
- 学校等 中郷中学校、中郷小学校、中郷保育園

【犯罪の発生状況】

平成 18 年中の刑法犯の発生状況は、総数 15 件で、そのうち窃盗犯は 8 件(53.3%)、粗暴犯は 1 件、知能犯は 2 件でした。

窃盗犯で見ると、侵入盗 2 件 (25.0%)、非侵入盗 6 件 (71.4%) であり、主な手口別では空き巣が 1 件、車上ねらいが 1 件、自動販売機ねらいが 1 件、乗り物盗が 1 件などでした。

犯罪率 3.2 件／1,000 人（13 区の中で 8 番目）

～懇談会での主な意見～

- 区内全体で防犯活動に取り組むため、平成 18 年に防犯組合を結成した。
- 小・中学校の下校時間には、防災行政無線により区内に知らせがあり、地域全体で見守り活動を実施している。
- 見守り活動は、最近は決まった家しか出ていただけない傾向にあり問題となっている。
- 小学校では、PTA にオレンジ帽子を配布して見守り活動をお願いしている。
- 小学校の統合により校区が広く、スクールバスを運行している。冬場は、夕暮れも早く、道路状況も悪いことから今後もスクールバスの有効利用が必要である。

板 倉 区

【地域の特徴】

- 立地 市の南部に位置し、合併前の上越市、清里区、長野県飯山市と接しています。
- 環境 河川の扇状地に形成された平野部が3割、残り7割は山間地で形成されている豪雪地帯です。観光・交流施設として糸しんの里記念館、光ヶ原高原があります。
- 人口密度 115.9人／km²（13区の中で5番目）
- 交通 鉄道：路線なし / 道路：区内を走る国道なし
- 学校等 有恒高校、板倉中学校、針小学校、宮嶋小学校、山部小学校、豊原小学校、いたくら保育園

【犯罪の発生状況】

平成18年中の刑法犯の発生状況は、総数21件で、そのうち窃盗犯は12件(57.1%)、粗暴犯は2件、知能犯は3件でした。

窃盗犯で見ると、侵入盗3件(25.0%)、非侵入盗9件(75.0%)であり、手口別で多いものでは、車上ねらいが3件、万引きが2件でした。

犯罪率2.7件／1,000人（13区の中で9番目）

～懇談会での主な意見～

- 核家族が少なく、集落内のコミュニティができていますが、高齢者が多く、高齢者に対する防犯教育が必要である。
- 高校が1校あり、区外からも生徒が通学してくる。通学路の防犯灯は整備されているが、まだ不完全な箇所もある。
- 小学校は4校あり、地形的には4校がそれぞれ山場、平場と条件に違いがあることが特徴といえる。
- 路線バスによる児童の登下校は、バス停までの送迎を家族や地域で行っている。
- 見守り活動については、スケジュールの見通しが立つと、若い両親でも参加してもらえることから、年間の計画を立て、各家庭に見守り活動をお願いしている。

清 里 区

【地域の特徴】

- 立地 市の南端部に位置し、合併前の上越市、板倉区、牧区、長野県と接しています。
- 環境 棚田の広がる中山間地域であり、観光・交流施設として清里星のふるさと館、坊ヶ池湖畔公園等があります。
- 人口密度 85.0 人／km²（13 区の中で 7 番目）
- 交通 鉄道：路線なし / 道路：区内を走る国道なし
- 学校等 清里中学校、清里小学校、きよさと保育園

【犯罪の発生状況】

平成 18 年中の刑法犯の発生状況は、総数 5 件で、そのうち窃盗犯は 4 件（80.0%）でした。

窃盗犯で見ると、侵入盗 1 件（25.0%）、非侵入盗 3 件（75.0%）であり、非侵入盗の主な手口別では、自動販売機ねらいが 1 件、その他の窃盗が 2 件でした。

犯罪率 1.5 件／1,000 人（13 区の中で 12 番目）

～懇談会での主な意見～

- 高齢者の防犯教室を毎年開催し、駐在所の警察官に講師をしていただき、とても好評を得ている。
- 地理的には県道があるが、中山間地域特有で交通量は少なく夜間の暗がりもあることから不安箇所がある。
- 高齢者が多いことから、防犯情報などの広報文書は、言葉だけでなくイラストを入れたり、簡略化して、お年寄りでも読めるものを作って欲しい。

三 和 区

【地域の特徴】

- 立地 市の東寄り中心部に位置し、頸城区、浦川原区、牧区、合併前の上越市と接しています。
- 環境 市の中心に近接する田園地帯であり、工業、商業、住宅が共存しています。観光・交流施設として米と酒の謎蔵、北代ぶどう園等があります。
- 人口密度 165.0 人／km²（13 区の中で 3 番目）
- 交通 鉄道：路線なし / 道路：国道 253 号線
- 学校等 三和中学校、里公小学校、上杉小学校、美守小学校、さんわ保育園

【犯罪の発生状況】

平成 18 年中の刑法犯の発生状況は、総数 15 件で、そのうち窃盗犯は 10 件(66.7%)、粗暴犯は 1 件でした。

窃盗犯で見ると、侵入盗 2 件（20.0%）、非侵入盗 8 件（80.0%）であり、主な手口別では、自動販売機ねらいが 2 件の他、事務所荒し、乗り物盗、車上ねらいがそれぞれ 1 件ずつありました。

犯罪率 2.3 件／1,000 人（13 区の中で 11 番目）

～懇談会での主な意見～

- 三つの防犯組合が集まって一つの防犯連合会を組織しており、地区によっては、拍子木を鳴らして夜回りをしている。
- 集落間の防犯灯は、市が計画的に整備を進めている。
- 子ども見守り活動には、子どもがいない家や若い親にも、一年の計画に基づいて必ずオレンジの帽子とベストを回して参加してもらっている。
- 農村地域では、日中の高齢者の一人暮らしを狙った訪問販売の情報がたびたびある。
- 防犯活動の意識の高揚のため、資料等を町内会に提供して欲しい。

名立区

【地域の特徴】

- 立地 市の西端に位置し、合併前の上越市、糸魚川市と接しています。
- 環境 海岸に接する山間地域で、南北に長い地形です。厳しい自然的条件があり、人口の流出、後継者不足が深刻な問題となっています。観光・交流施設として、うみてらす名立、シーサイドパーク名立等があります。
- 人口密度 48.1人／km²（13区の中で10番目）
- 交通 鉄道：JR西日本北陸本線名立駅 / 道路：国道8号線
- 学校等 名立中学校、宝田小学校、たちばな保育園、名南保育園

【犯罪の発生状況】

平成18年中の刑法犯の発生状況は、総数23件で、そのうち窃盗犯は15件(66.7%)、粗暴犯は2件、知能犯は2件でした。

窃盗犯で見ると、侵入盗3件(20.0%)、非侵入盗12件(80.0%)であり、主な手口別の多いものでは、乗り物盗が3件、自動販売機ねらいが3件、車上ねらいが2件でした。

犯罪率7.2件／1,000人（13区の中で2番目）

～懇談会での主な意見～

- 合併を機に4地区の防犯協議会（43町内会）から構成される名立区防犯協議会を組織している。
- 日中一人暮らしの高齢者世帯が多く、地理的には不審者は入ってこれないという安心感があり、「カギかけ」の意識は希薄である。
- 子どもが少ないので大人は地域の子どもの顔を皆知っている。
- 地域住民と警察の駐在所との関係は良好である。
- 子どもの迎えは家族で自主的に行っている。
- 訪問販売が多くあり、区総合事務所からオフトーク放送で注意を呼びかけられることが多くある。